

声

業界の

● 山梨県水晶宝飾連合会
(協同組合山梨県ジュエリー協会 理事長)

会長 近藤 誠氏



宝飾業界の今後について

当業界の現況は、近年の景気後退や震災後の購買意欲の減衰、また消費者ニーズの変化等により、売上等においても影響が出ています。このような状況の中、業界としては次の4つの大きな課題に取り組んでいます。

1つ目は、「協山梨県ジュエリー協会」、「山梨県貴金属工芸協」、「山梨県宝石研磨工業協」、「山梨県水晶美術彫刻協」の県内宝飾関連4組合の統合です。これについては、山梨県水晶宝飾連合会で統合に向けた話し合いを進めています。これにより、宝飾産地「山梨」の更なる活性化を図っていききたいと考えています。

2つ目は、山梨独自の宝飾ブランドである「Koo-fu(クーフー)」の更なる強化です。「Koo-fu」は山梨の宝飾産業の活性化のために取り組んでいる事業ですが、今後は、更なる市場開拓、市場への浸透を推し進めていきたいと考えています。

3つ目は、「Made in Japan」のブランド強化です。我が国のものづくり技術は、決して海外ブランドにもひけをとりません。海外に対し「Made in Japan」ブランドを押し進め、商品価値の向上と更なる市場開拓を行っていききたいと考えています。

4つ目は、「山梨ジュエリーミュージアム」の建設、それによる当業界の発展です。山梨県は、江戸時代より続く宝石研磨技術、水晶彫刻技術、貴金属加工技術、それらを全国に販売する部門のすべてがそろっている県です。これまで宝飾関連業界がそろっている都道府県は、山梨県が唯一です。この「山梨ジュエリーミュージアム」により、県内の方々には山梨県の宝飾についてより知って頂き、それを県民の誇りとして頂きたいと思いますし、県外の方々には「宝飾産地山梨」を全面的にPRし、宝飾と言えれば「山梨」、宝飾を買うなら「山梨」と思ってもらえる環境作りを行っていききたいと考えています。それが当業界の発展のみならず、山梨県の発展に繋がっていくと思います。

山梨県の宝飾技術や伝統は、全国に、世界に誇っていただけるものだと思います。今後は、それらをPRしていき、少しでも宝飾業界の発展、山梨県の発展に寄与できればと思います。